

# 令和6年度 財政状況資料集

## 総括表（都道府県）

都道府県名	神奈川県		職員の状況（※7）			区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)
			区分	定数	1人あたり平均 給料月額(百円)	歳入総額	歳出総額	実質収支比率					
グループ	B		知事	1	14,500	歳入歳出差引	51,748,347	43,814,309	経常収支比率	96.3		96.0	
人口	令和2年国調(人)	9,237,333	副知事	3	11,600	翌年度に繰越すべき財源	30,158,435	20,876,468	(※1)	(97.8)		(100.1)	
	平成27年国調(人)	9,126,209	教育長	1	9,500	実質収支	21,589,912	22,937,841	標準財政規模	1,449,789,663		1,414,177,145	
	増減率(%)	1.2	議会議長	1	12,000	単年度収支	-1,347,929	-3,792,639	財政力指数	0.86325		0.83935	
住民基本台帳人口 （※6）	令和07.01.01(人)	9,202,559	議会副議長	1	10,800	積立金	9,806,244	4,706,940	公債費負担比率	15.7		15.8	
	うち日本人(人)	8,917,670	議会議員	103	9,700	繰上償還金	0	0	健全化判断比率	-		-	
	令和06.01.01(人)	9,208,688	区分	職員数 (人)	給料月額 (百円)	1人あたり平均 給料月額(百円)	積立金取崩し額	1,074,760	439	実質赤字比率	-		-
	うち日本人(人)	8,948,525	一般職員	11,214	36,086,652	3,218	実質単年度収支	7,383,555	913,862	連結実質赤字比率	8.6		8.9
	増減率(%)	-0.1	うち消防職員	-	-	-	基準財政収入額	997,435,202	949,213,938	実質公債費比率	54.5		64.0
	うち日本人(%)	-0.3	うち技能労務職員	251	744,215	2,965	基準財政需要額	1,156,685,134	1,101,695,318	将来負担比率			
面積(km <sup>2</sup> )	2,417		警察官	15,701	52,268,629	3,329	標準税収入額等	1,266,769,766	1,202,565,719	資金不足比率(※4)			
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	3,808		教育公務員	23,930	82,445,512	3,445	經常経費充当一般財源等	1,459,350,744	1,366,316,037				
世帯数(世帯)	4,223,706		臨時職員	2,685	7,939,545	2,957	歳入一般財源等	2,009,432,767	1,889,641,724				
			合計	53,530	178,740,338	3,339	地方債現在高	2,872,935,522	3,073,437,909				
			ラスバイレス指数	100.0			うち公的資金	310,001,470	332,962,885				
							地方債現在高(臨時財政対策債除き)	1,222,746,440	1,306,389,331				
							債務負担行為額(支出予定額)	189,938,686	240,798,037				
							収益事業収入	8,479,038	8,933,966				
							定額運用基金	-	-				
							土地開発基金	-	-				
							積立金現在高	79,623,013	70,891,529				
							財政調整基金	70,604,648	56,174,494				
							その他特定目的基金	249,133,024	249,523,460				

一般会計等の一覧 項番	会計名	事業会計の一覧 項番	会計名	公営企業(法適)の一覧 項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧 項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧 項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(11)	国民健康保険事業会計	(12)	水道事業会計			(18)	神奈川県川崎競馬組合	(20)	(一財)神奈川県厚生福利振興会	○
(2)	公債管理特別会計			(13)	電気事業会計			(19)	神奈川県内広域水道企業団	(21)	(株)湘南国際村協会	
(3)	公営競技収益配分金等管理会計			(14)	公営企業資金等運用事業会計					(22)	(公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	
(4)	地方消費税清算会計			(15)	相模川総合開発共同事業会計					(23)	(公財)かながわ国際交流財団	
(5)	水源環境保全・再生事業会計			(16)	酒匂川総合開発事業会計					(24)	(公財)神奈川文学振興会	
(6)	市町村自治振興事業会計			(17)	流域下水道事業会計					(25)	(公財)神奈川芸術文化財団	
(7)	恩賜記念林業振興資金会計									(26)	(公財)かながわ健康財団	
(8)	林業改善資金会計									(27)	(公財)神奈川県生活衛生営業指導センター	
(9)	沿岸漁業改善資金会計									(28)	(公財)神奈川県都市整備技術センター	
(10)	災害救助基金会計									(29)	(株)湘南なぎさパーク	

(注釈) ※1：経常収支比率の( )内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。  
 ※6：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※7：職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（都道府県）

歳入の状況（単位 千円・%）				道府県税の状況（単位 千円・%）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	1,459,016,486	62.3	1,101,089,168	73.8	普通税	1,459,001,427	100.0	33,282,136
地方譲与税	201,942,351	8.6	201,942,351	13.5	法定普通税	1,459,001,427	100.0	33,282,136
地方揮発油譲与税	1,560,367	0.1	1,560,367	0.1	道府県民税	423,174,901	29.0	13,513,263
特別とん譲与税	-	-	-	-	個人均等割	6,832,427	0.5	1,561,478
石油ガス譲与税	39,588	0.0	39,588	0.0	所得割	307,001,388	21.0	2,776,129
自動車重量譲与税	978,765	0.0	978,765	0.1	法人均等割	7,896,833	0.5	-
航空機燃料譲与税	-	-	-	-	法人税割	22,333,303	1.5	9,175,656
森林環境譲与税	134,859	0.0	134,859	0.0	利子割	2,168,549	0.1	-
特別法人事業譲与税	199,228,772	8.5	199,228,772	13.4	配当割	31,593,380	2.2	-
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	株式等譲渡所得割	45,349,021	3.1	-
地方特例交付金等	23,745,619	1.0	23,745,619	1.6	事業税	367,141,499	25.2	19,768,873
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	4,048,315	0.2	4,048,315	0.3	個人分	21,036,023	1.4	-
定額減税減収補填特例交付金	19,697,304	0.8	19,697,304	1.3	法人分	346,105,476	23.7	19,768,873
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	-	-	-	-	地方消費税	482,802,487	33.1	-
地方交付税	160,604,477	6.9	159,249,932	10.7	不動産取得税	36,056,750	2.5	-
普通交付税	159,249,932	6.8	159,249,932	10.7	道府県たばこ税	9,712,712	0.7	-
特別交付税	1,333,606	0.1	-	-	ゴルフ場利用税	1,641,845	0.1	-
震災復興特別交付税	20,939	0.0	-	-	軽油引取税	39,464,811	2.7	-
(一般財源計)	1,845,308,933	78.8	1,486,027,070	99.6	自動車税	99,006,422	6.8	-
交通安全対策特別交付金	1,081,033	0.0	1,081,033	0.1	鉱区税	-	-	-
分担金・負担金	3,418,883	0.1	-	-	固定資産税特例	-	-	-
使用料	26,725,608	1.1	1,877,855	0.1	法定外普通税	-	-	-
手数料	11,309,491	0.5	-	-	目的税	15,059	0.0	-
国庫支出金	161,763,164	6.9	-	-	法定目的税	15,059	0.0	-
国有提供交付金	-	-	-	-	狩猟税	15,059	0.0	-
財産収入	12,583,499	0.5	2,403,922	0.2	法定外目的税	-	-	-
寄附金	691,326	0.0	-	-	旧法による税	-	-	-
繰入金	109,939,693	4.7	-	-	合計	1,459,016,486	100.0	33,282,136
繰越金	43,814,309	1.9	-	-				
諸収入	35,034,576	1.5	633,384	0.0				
地方債	91,274,401	3.9	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	23,769,000	1.0	-	-				
歳入合計	2,342,944,916	100.0	1,492,023,264	100.0				

歳出の状況（単位 千円・%）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	3,549,223	0.2	-	3,548,834
総務費	209,446,564	9.1	5,115,691	181,822,674
民生費	543,021,929	23.7	6,959,895	505,927,449
衛生費	74,053,603	3.2	3,259,600	36,524,065
労働費	5,940,108	0.3	393,112	4,315,821
農林水産業費	26,689,765	1.2	12,420,729	16,568,623
商工費	27,193,743	1.2	739,659	23,829,518
土木費	139,333,172	6.1	108,712,518	43,528,622
警察費	209,398,891	9.1	9,246,642	199,268,551
消防費	-	-	-	-
教育費	409,832,685	17.9	19,405,244	302,083,998
災害復旧費	205,438	0.0	-	34,900
公債費	317,861,969	13.9	-	315,561,886
諸支出金	24,297	0.0	24,078	24,297
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	819,700	0.0	-	819,700
配当割交付金	18,764,275	0.8	-	18,764,275
株式等譲渡所得割交付金	26,937,487	1.2	-	26,937,487
分離課税所得割交付金	1,848,069	0.1	-	1,848,069
地方消費税交付金	224,934,405	9.8	-	224,934,405
ゴルフ場利用税交付金	1,135,554	0.0	-	1,135,554
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	19,107,490	0.8	-	19,107,490
自動車税環境性能割交付金	6,731,090	0.3	-	6,731,090
法人事業税交付金	24,367,112	1.1	-	24,367,112
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	2,291,196,569	100.0	166,277,168	1,957,684,420

性質別歳出の状況（単位 千円・%）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	896,908,994	39.1	810,939,159	808,759,448	53.4
人件費	526,831,307	23.0	471,175,991	469,022,171	30.9
うち職員給	391,464,498	17.1	337,347,907	337,347,907	22.3
扶助費	52,943,149	2.3	24,928,713	24,902,822	1.6
公債費	317,134,538	13.8	314,834,455	314,834,455	20.8
元利償還金	317,134,538	13.8	314,834,455	314,834,455	20.8
うち元金	291,776,788	12.7	289,483,714	289,483,714	19.1
うち利子	25,357,750	1.1	25,350,741	25,350,741	1.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	1,227,804,969	53.6	1,102,082,352	650,591,296	42.9
物件費	88,297,487	3.9	72,089,862	65,276,980	4.3
維持補修費	15,400,125	0.7	6,205,750	3,848,698	0.3
補助費等	933,817,364	40.8	867,859,285	530,640,382	35.0
繰出金	48,204,417	2.1	48,204,417	48,204,417	3.2
積立金	132,617,486	5.8	105,011,761	-	-
投資及び出資金	200	0.0	200	-	-
貸付金	9,467,890	0.4	2,711,077	2,620,819	0.2
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	166,482,606	7.3	44,662,909	-	-
うち人件費	3,797,431	0.2	3,126,115	-	-
普通建設事業費	166,277,168	7.3	44,628,009	-	-
うち補助	69,064,520	3.0	9,384,539	-	-
うち単独	86,408,814	3.8	34,237,636	-	-
災害復旧事業費	205,438	0.0	34,900	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	2,291,196,569	100.0	1,957,684,420	-	-

区分		令和6年度		令和5年度	
徴収率 (%)	現年計	99.4	99.1	99.4	99.1
	道府県民税	99.2	98.2	99.2	98.1
	事業税	100.0	99.7	100.1	99.8
国民健康保険		実質収支		7,509,759	
事業会計の状況		再差引収支		7,509,759	

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（都道府県）

令和6年度 神奈川県

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	2,276,827	2,233,442	43,384	21,590	97,766	3,734,191	
2 公債管理特別会計	672,283	672,283	-	-	532,160	-	
3 公営競技収益配分等管理会計	1,400	1,400	-	-	-	-	
4 地方消費税清算会計	873,596	869,075	4,520	-	-	-	
5 水源環境保全・再生事業会計	9,278	8,915	363	-	9,097	-	
6 市町村自治振興事業会計	11,310	10,166	1,145	-	4,674	1,140	
7 恩賜記念林業振興資金会計	153	109	44	-	-	-	
8 林業改善資金会計	76	0	76	-	0	-	
9 沿岸漁業改善資金会計	186	3	183	-	0	-	
10 災害救助基金会計	35	35	0	-	24	-	
11 母子父子学務福祉資金会計	1,933	854	1,079	-	27	2,748	
12 介護保険財政安定化基金会計	8	8	0	-	-	-	
13 中小企業資金会計	1,533	1,518	15	-	350	3,444	
14 県営住宅事業会計	33,523	32,585	938	-	5,253	59,157	
15 地方独立行政法人神奈川県立病院機構職員会計	6,293	6,293	-	-	-	30,864	
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							

### (3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

令和6年度

神奈川県

人	9,202,559	人(77.1%現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%	
うち日本人	8,917,670	人(77.1%現在)	連 続 実 質 赤 字 比 率	-	%	
面積	2,416.55	km <sup>2</sup>	実 質 公 債 費 比 率	8.6	%	
歳入総額	2,342,944,916	千円	将 来 負 担 比 率	54.5	%	
歳出総額	2,291,196,569	千円	グ ル ー プ	R02 B	R03 B	R04 B
実質収支	21,589,912	千円	( 年 度 毎 )	R05 B	R06 B	
標準財政規模	1,449,789,663	千円				
地方債現在高	2,872,935,522	千円				



※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。  
 ※ 「定員管理の状況」の「人口10万人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスバイス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

#### 財政力

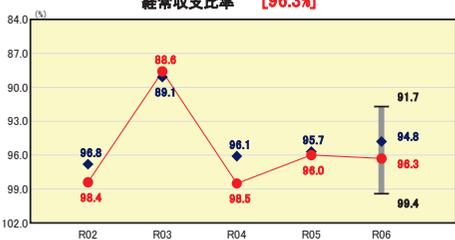


**グループ内順位** 2/20 **都道府県平均** 0.51

**財政力指数の分析**

本県は、首都圏に位置し、大規模法人が多いことから、全国的に見て県税収入の割合が高く、財政力指数は0.86と全国平均0.51の約1.7倍、グループ内平均と比較しても約1.3倍と、高い財政力を有している。

#### 財政構造の弾力性



**グループ内順位** 18/20 **都道府県平均** 92.2

**経常収支比率の分析**

令和6年度は、県税収入の増などにより分母である経常一般財源が増したが、それ以上に人件費や補助費等の増により分子である経常的経費充当一般財源が増したため、経常収支比率は前年度より悪化した。  
 なお、本県の財政構造は人口規模に応じて配置する警察官や教職員の人員費負担が多いことに加え、社会保障関係費が増加し、経常収支比率は高い傾向にあるため、今後も引き続き、人件費の抑制、県債の適切な管理、事務事業の見直し等により、歳入の適正化に努めていく。

#### 人件費・物件費等の状況

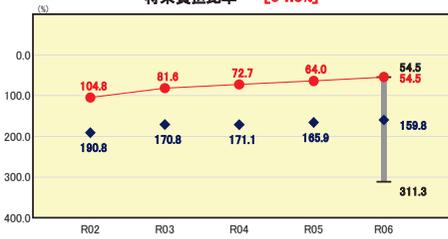


**グループ内順位** 1/20 **都道府県平均** 121,410

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析**

人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額は65,649円とグループ内団体一低いコストとなっている。  
 主な要因は、本県は全国に先駆けて平成9年から行政システム改革に取り組み、職員数全体の伸びを抑えてきたためである。  
 また、平成29年度の県費負担教職員の給与負担事務の政令市への移譲による影響も一因である。  
 今後も引き続き、行財政改革に取り組んでいく。

#### 将来負担の状況



**グループ内順位** 1/20 **都道府県平均** 144.1

**将来負担比率の分析**

令和6年度は前年度より9.5ポイント減少し、54.5%となり、早期健全化基準(400%)を大きく下回っている。  
 これは、県債現在高の減少に加え、将来負担額に充当可能な基金が増加したことによる。  
 なお、近年は、普通交付税の後年度精算に備えた交付税精算基金への積立等、将来負担額に充当可能な基金への積立を多く行ったことにより、将来負担比率が改善しているため、後年度の基金活用により将来負担比率が悪化する可能性もあることから、今後も県債の適切な管理を行うことで健全な財政運営に努めていく。

#### 公債費負担の状況



**グループ内順位** 3/20 **都道府県平均** 10.1

**実質公債費比率の分析**

令和6年度は前年度より0.3ポイント減少し、8.6%となり、早期健全化基準(25%)を下回っている。  
 これは令和6年度に税収が増加したことで標準財政規模が大きくなり分母が大きくなった一方で、交付税措置されない県債の元利償還金の減等により、分子が小さくなったことによるものである。  
 今後も県債発行の適切な管理を行う等、健全な財政運営に努めていく。

#### 定員管理の状況



**グループ内順位** 1/20 **都道府県平均** 1,092.80

**人口10万人当たり職員数の分析**

簡素で効率的な県政の実現を目指し、全国に先駆けて平成9年度から行政改革に取り組み、一般行政部門の人口10万人当たり職員数は全国最少となっている。  
 職員・組織・仕事の質を向上させ、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革を進めており、引き続き業務量に応じた適切な定数管理に努めていく。

#### 給与水準(国との比較)



**グループ内順位** 1/20 **都道府県平均** 99.7

**ラスバイス指数の分析**

分析対象期間中には、知事選に伴う2回の昇格(令和5年6月1日、令和6年4月1日)、職員階層の変動(新規採用職員増、経験年数階層の変動)はあったが、前年度と同水準を維持した。  
 職員の給与水準は県内民間企業との均衡を基本としており、今後も引き続き、給与制度全般にわたり厳正な運用に努めていく。

# (4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

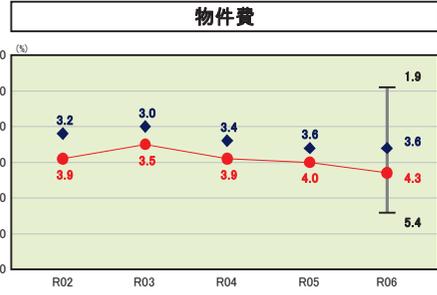
令和6年度

神奈川県

## 経常収支比率の分析

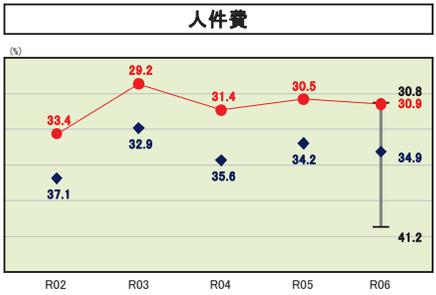
人	9,202,559	人(R7.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率	-	%	
うち日本人	8,917,670	人(R7.1.1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率	-	%	
面積	2,416.65	km <sup>2</sup>	実 質 公 債 費 比 率	8.6	%	
歳入総額	2,342,944,916	千円	将 来 負 担 比 率	54.5	%	
歳出総額	2,291,196,569	千円				
実質収支	21,589,912	千円	グ ル ー プ	R02 B	R03 B	R04 B
標準財政規模	1,449,789,663	千円	( 年 度 毎 )	R05 B	R06 B	
地方債現在高	2,872,935,522	千円				

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合、グループ内順位を表示しない。



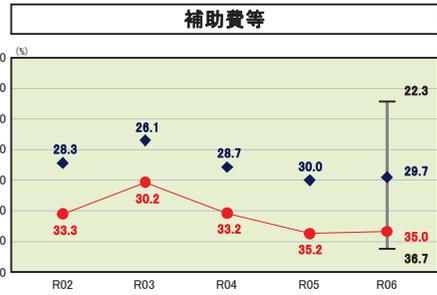
### 物件費の分析欄

令和6年度は、物価高騰の影響等により前年度比0.3ポイントの増加となった。  
 今後も引き続き、事務事業の見直しや業務の効率化などに取り組んでいく。



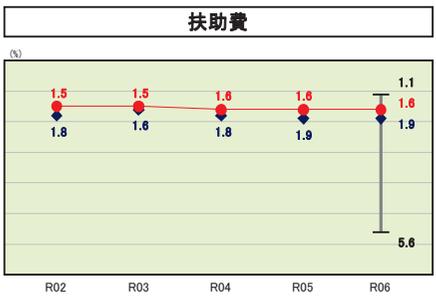
### 人件費の分析欄

平成29年度の県費負担教職員の給与負担事務の政令市への移譲により大幅に人件費が減となり、グループ内で低い数値となっている。  
 令和6年度は、退職手当の増などにより前年度比0.4ポイントの増加となった。なお、退職手当は、定年延長により令和5年度は減少となったが、令和6年度は定年年齢が据え置かれる年度のため増となっている。  
 今後も引き続き、人口の規模に応じた職員の適正配置に取り組んでいく。



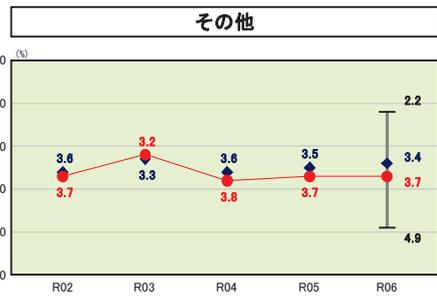
### 補助費等の分析欄

令和6年度は、子ども施策の拡充や高齢化等に伴う社会保障関係費が増となったが、地方税及び地方譲与税等の増により分母である経常一般財源が増となったことから、前年度比0.2ポイントの減少となった。



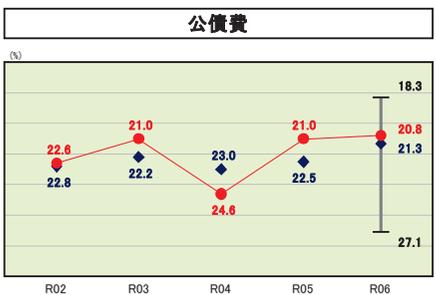
### 扶助費の分析欄

平成30年度から政令市へ難病患者医療費に関する事務を移譲したことの影響などにより数値が低下し、グループ内平均を下回っている。  
 令和6年度は、前年度と横ばいとなった。  
 県民生活に直接かかわる経費であるため、今後も引き続き、適切に対応していく。



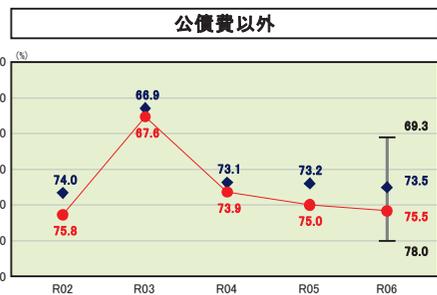
### その他の分析欄

令和6年度は、市町村振興資金貸付金などが増となったが、地方税及び地方譲与税等の増により分母である経常一般財源も増となったことから、前年度と横ばいとなった。



### 公債費の分析欄

令和6年度は、公債費が増となったが、それ以上に地方税及び地方譲与税等の増により分母である経常一般財源が増となったことから、前年度比0.2ポイントの減少となった。  
 県債残高は、令和6年度に2兆円台となり、中長期的には県債残高と公債費は減少傾向で推移する見通しとなっている。県債に係る良好な状態を維持しながら、必要な投資を抑制することなく県債を適切に管理するため、「県債管理方針」に基づき適切な財政運営を行っていく。



### 公債費以外の分析欄

令和6年度は、退職手当の増などによる人件費の増や物価高騰の影響等による物件費の増などにより前年度比0.5ポイントの増加となった。  
 今後も事務事業の見直しに取り組むなど、健全な財政運営に努めていく。

# (4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

神奈川県

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
人件費	526,831,307	57,248	88,289	▲ 35.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	301,537	33	471	▲ 93.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	7	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	3,797,431	413	1,062	▲ 61.1
▲退職金	▲ 30,186,813	▲ 3,280	▲ 6,260	▲ 47.6
合計	500,743,462	54,414	83,568	▲ 34.9

## 参考

項目	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	581.69	935.76	▲ 354.07
ラスパイレス指数	100.0	100.2	▲ 0.2

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

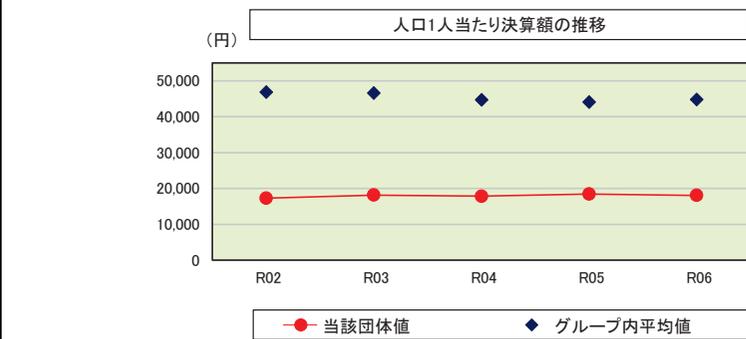
## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	グループ内平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	106,824,460	11,608	24,743	▲ 53.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	934	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額)	154,579,437	16,797	21,103	▲ 20.4
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	1,993,240	217	738	▲ 70.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金	-	-	46	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	1,402,510	152	387	▲ 60.7
一時借入金利子(同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲ 2,300,083	▲ 250	▲ 1,874	▲ 86.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 164,079,846	▲ 17,830	▲ 26,082	▲ 31.6
合計	98,419,718	10,695	19,998	▲ 46.5

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額			
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	グループ内平均 (円)	増減率 (%) (B)
R02	159,321,812	17,280	▲ 2.5	46,888	9.5
	うち単独分	82,677,445	8,967	▲ 7.9	14,375
R03	167,289,223	18,154	5.1	46,574	▲ 0.7
	うち単独分	92,321,352	10,018	11.7	14,394
R04	164,284,505	17,834	▲ 1.8	44,729	▲ 4.0
	うち単独分	93,237,908	10,121	1.0	15,395
R05	169,709,541	18,429	3.3	44,130	▲ 1.3
	うち単独分	97,767,991	10,617	4.9	15,920
R06	166,277,168	18,069	▲ 2.0	44,816	1.6
	うち単独分	86,408,814	9,390	▲ 11.6	17,040
過去5年間平均	165,376,450	17,953	0.4	45,427	1.0
	うち単独分	90,482,702	9,823	▲ 0.4	15,425

# (5) 都道府県性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

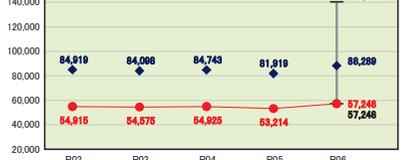
令和6年度

神奈川県

人口	9,202,559人(7.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	8,917,670人(7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	2,416.55km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.6%
歳入総額	2,342,944,916千円	実質負担比率	54.5%
歳出総額	2,291,196,589千円	グループ	R02 B R03 B R04 B
実収支	21,589,912千円	(年度毎)	R06 B R06 B
標準財政規模	1,449,789,683千円		
地方債現在高	2,872,935,522千円		

● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
└ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析欄

歳出決算総額は、住民一人当たり248,974円となっている。  
 人件費は、平成29年度の県費負担教職員の給与負担事務の政令市への移譲から大幅に減少し、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。令和6年度は、給与改定による職員給の増や退職手当の増等により増加している。  
 物件費は、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。令和6年度は、教育環境整備事業費(緊急整備分)等により増加している。  
 補助費等は、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策により大幅増となったのち、令和4年度から減少に転じたが、令和6年度は、収増に伴う税交付金の増等により増加している。  
 普通建設事業費は、県内に抱える3つの政令市が道路建設等を担っていることから、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。  
 公債費は、令和5年度では過去に発行した県債の償還がピークを越えたこと等により減少したが、令和6年度は、償還を迎える銘柄が一時的に増となるなどにより増加している。また、県債発行の適正化に取り組んでおり、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。

# (6) 都道府県目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

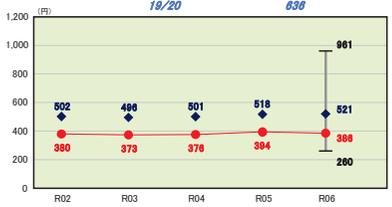
神奈川県

人口	9,202,559人(7.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	8,917,670人(7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	2,416.55km <sup>2</sup>	実質公債費比率	8.6%
歳入総額	2,342,944,916千円	実質負担比率	54.5%
歳出総額	2,291,196,589千円	グループ	R02 B R03 B R04 B
実収支	21,589,912千円	(年度毎)	R05 B R06 B
標準財政規模	1,449,789,683千円		
地方債現在高	2,872,935,522千円		

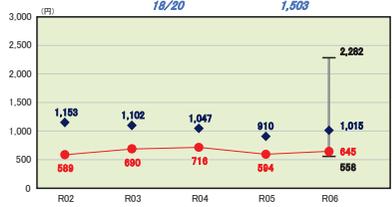
● 当該団体値  
◆ グループ内平均値  
└ グループ内の最大値及び最小値

※ グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。  
 [ Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満 ]  
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。  
 ※ グループ内順位及び都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また同一グループの団体が存在しない場合グループ内順位を表示しない。

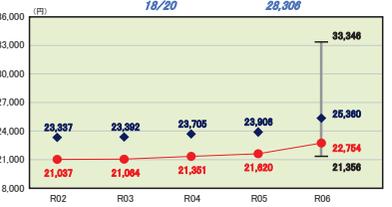
**議会費**  
グループ内順位 19/20 都道府県平均 838



**労働費**  
グループ内順位 18/20 都道府県平均 1,503



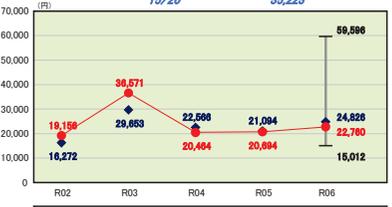
**警察費**  
グループ内順位 18/20 都道府県平均 28,308



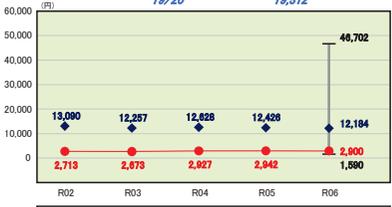
**諸支出金**  
グループ内順位 2/20 都道府県平均 238



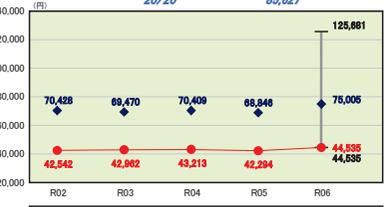
**総務費**  
グループ内順位 15/20 都道府県平均 35,223



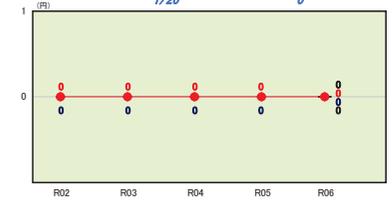
**農林水産業費**  
グループ内順位 19/20 都道府県平均 19,312



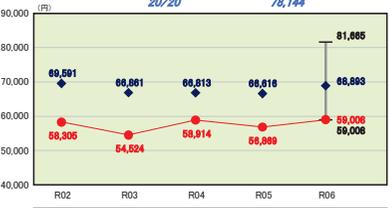
**教育費**  
グループ内順位 20/20 都道府県平均 85,627



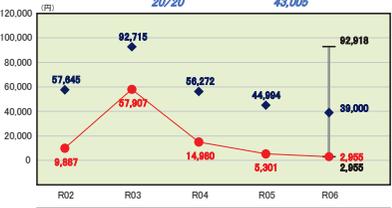
**前年度繰上充用金**  
グループ内順位 1/20 都道府県平均 0



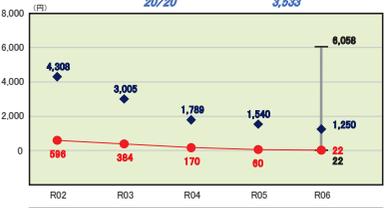
**民生費**  
グループ内順位 20/20 都道府県平均 78,144



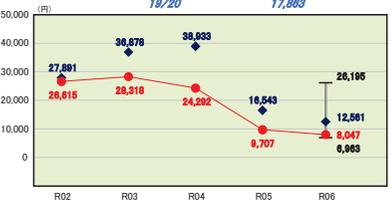
**商工費**  
グループ内順位 20/20 都道府県平均 43,005



**災害復旧費**  
グループ内順位 20/20 都道府県平均 3,533



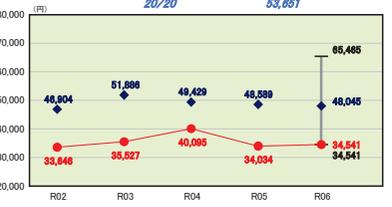
**衛生費**  
グループ内順位 19/20 都道府県平均 17,863



**土木費**  
グループ内順位 20/20 都道府県平均 51,614



**公債費**  
グループ内順位 20/20 都道府県平均 53,651



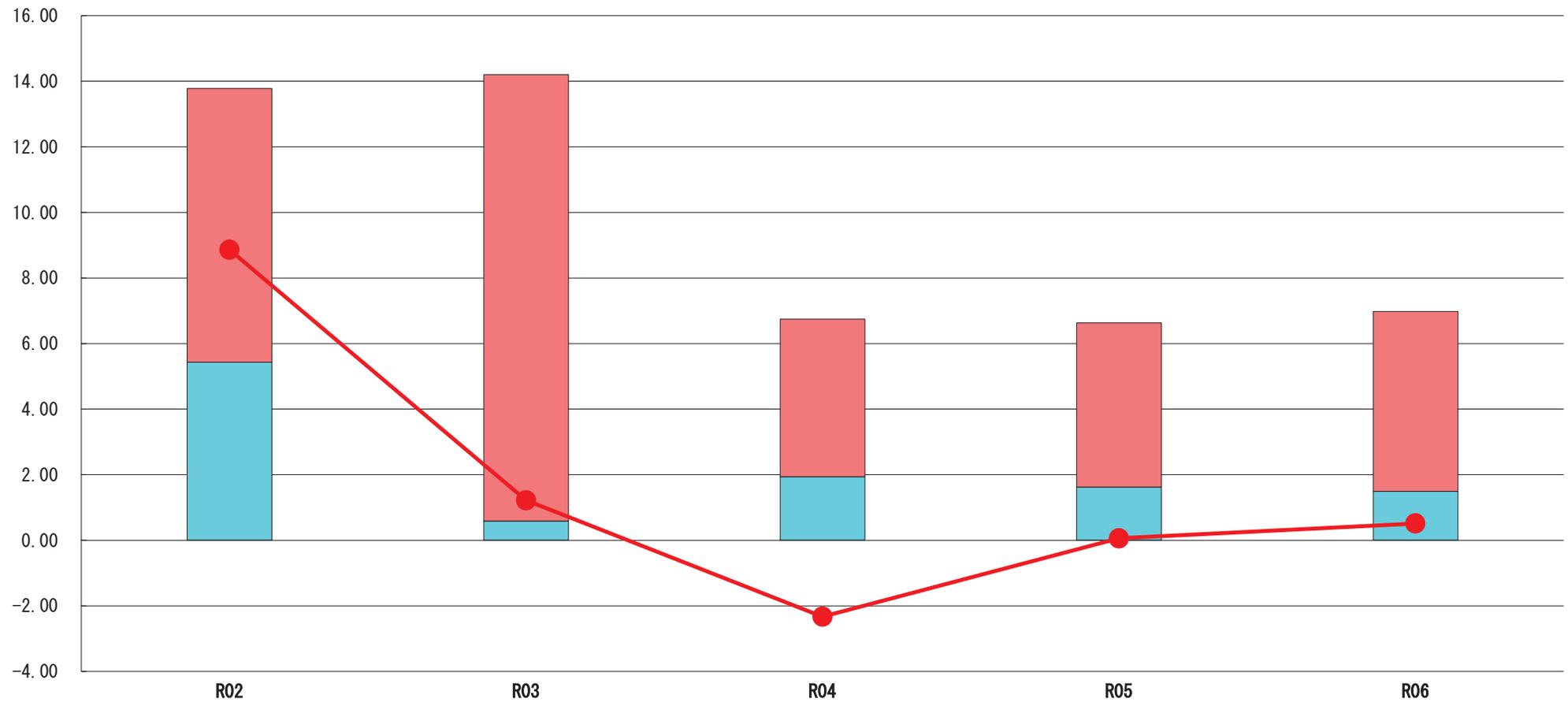
**目的別歳出の分析欄**  
 民生費は、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。子ども施策の拡充や高齢化等により社会保障関係費の増は依然として続いており、令和6年度も増加している。  
 衛生費は、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。令和6年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う感染症病床確保支援事業費の減などにより減少している。  
 商工費は、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。令和6年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う県内消費喚起対策事業費の減などにより減少している。  
 公債費は、令和5年度は過去に発行した県債の償還がピークを越えたこと等により減少したが、令和6年度は、償還を迎える銘柄が一時的に増となるなどにより増加している。また、県債発行の適正化に取り組んでおり、グループ内平均と比較して低い水準で推移している。

# (7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

令和6年度

神奈川県

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		8.35	13.61	4.81	5.01	5.49
 実質収支額		5.43	0.59	1.94	1.62	1.49
 実質単年度収支		8.86	1.22	▲ 2.33	0.06	0.51

## 分析欄

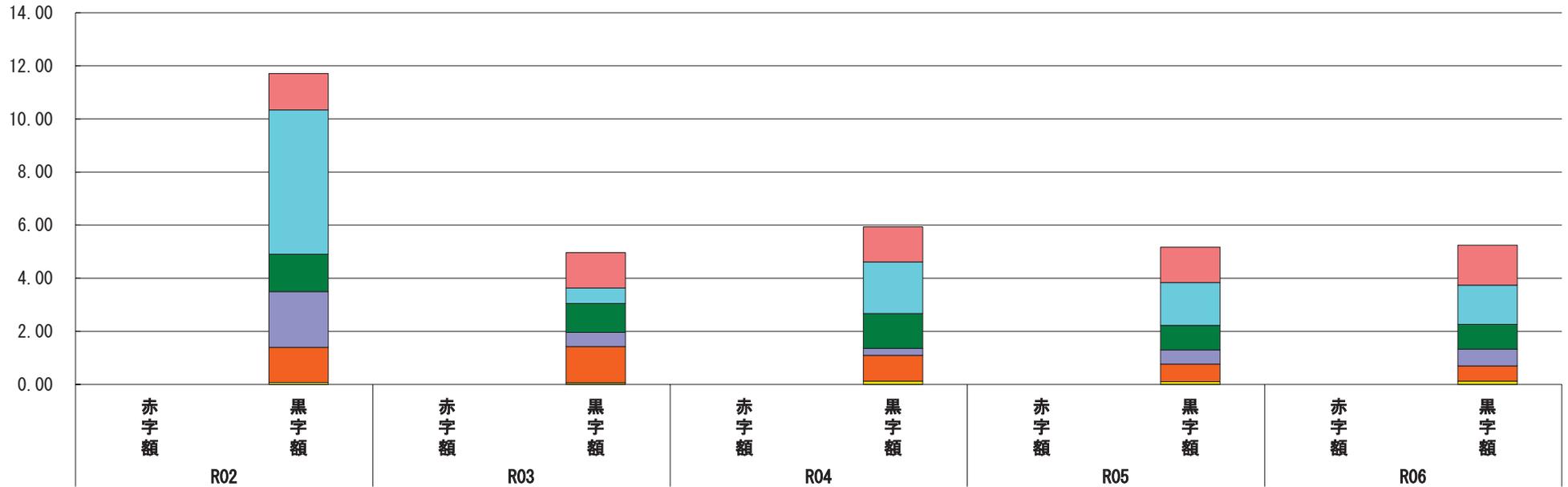
実質収支額は、税収の増などにより引き続き黒字を確保しており、令和5年度と同程度となっている。なお、新型コロナウイルス感染症対策緊急包括支援交付金の不用額(国への返済未納額)等による特殊要因があった令和2年度、4年度と比べると小さくなっている。  
 財政調整基金残高は、本県の残高の目安である標準財政規模の5%程度となっており、引き続き計画的な積立に努めていく。  
 実質単年度収支は、令和6年度の法定積立額が取崩額を上回ったため、改善した。なお、令和4年度は、財源対策として財政調整基金を取り崩したため、マイナスとなっている。

# (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（都道府県）

令和6年度

神奈川県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
電気事業会計		1.37	1.33	1.33	1.33	1.51
一般会計		5.43	0.58	1.94	1.62	1.48
公営企業資金等運用事業会計		1.41	1.09	1.31	0.92	0.93
国民健康保険事業会計		2.10	0.53	0.26	0.53	0.63
水道事業会計		1.32	1.36	0.98	0.66	0.58
流域下水道事業会計		0.08	0.07	0.12	0.11	0.12
公債管理特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公営競技収益配分金等管理会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

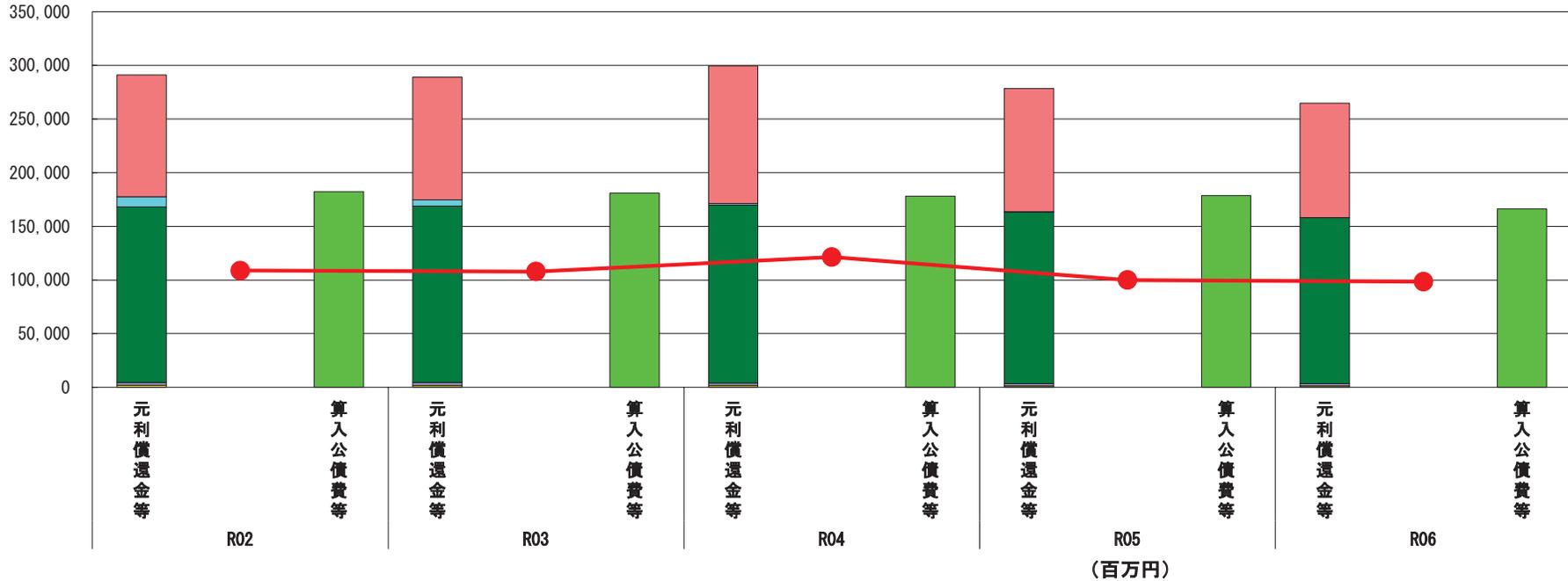
6年度の電気事業会計においては容量市場収入を新たに得たこと、前年度より降雨量が増加し供給電力量が増加したことで、電力収入が増加し黒字額も上昇した。  
 今後も引き続き全ての会計で資金不足が起こらないよう慎重な財政運営に努めていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（都道府県）

令和6年度

神奈川県

(百万円)



分子の構造		年度				
		R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金	113,654	114,398	128,234	114,897	106,824
	減債基金積立不足算定額※	9,509	5,802	1,674	264	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	163,477	164,235	165,609	159,880	154,579
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	2,657	2,766	2,331	2,072	1,993
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額	1,882	1,772	1,651	1,434	1,403
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等	182,433	181,093	178,096	178,534	166,380
(A) - (B)	● 実質公債費比率の分子	108,746	107,880	121,403	100,013	98,419

**分析欄**

元利償還金等、算入公債費等ともに、県債の着実な償還により、減少している。  
 今後、中長期的には県債残高や公債費は、減少していくことが見込まれるものの、老朽化した県有施設の更新や長寿命化、災害に強い施設整備等を進めていく必要があるため、引き続き、県債管理に係る良好な状態を維持しつつ、県債の適切な管理を行うことで健全な財政運営に努めていく。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

		年度				
		R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)	129,330	110,822	113,617	81,725	62,150
	前年度末減債基金残高 (D)	721,789	764,009	846,166	903,019	944,436
	前年度末減債基金積立相当額 (E)	779,070	806,215	858,822	905,942	912,323

**分析欄**

減債基金積立相当額の積立ルールが30年償還で毎年度の積立額を発行額の30分の1と設定しているのに対して、本県では10年債及び20年債の新規発行及び借替債発行において3年の据え置き期間を設定していたため、減債基金残高と減債基金積立相当額に乖離が生じていた。  
 今後も、令和3年度に本県の積立ルールを変更したこと等により、減債基金残高が減債基金積立相当額を上回る状況が続いていく見込みである。

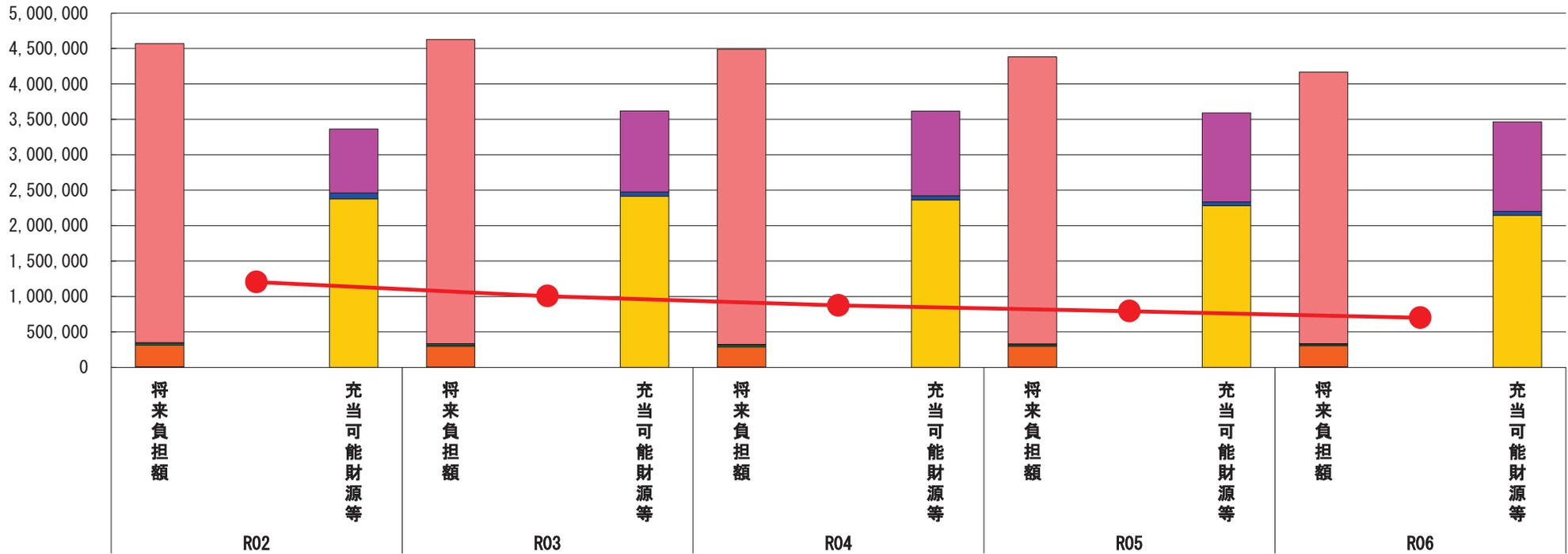
(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。  
 減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

# (10) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

令和6年度

神奈川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		4,218,760	4,291,815	4,167,509	4,052,570	3,831,545
	債務負担行為に基づく支出予定額		13,651	12,181	10,797	9,608	8,422
	公営企業債等繰入見込額		24,849	23,446	22,268	21,215	20,345
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		305,565	294,462	287,020	294,859	295,486
	設立法人等の負債額等負担見込額		7,608	5,012	3,803	5,869	9,823
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		903,767	1,144,679	1,193,529	1,252,411	1,262,020
	充当可能特定歳入		83,608	62,518	56,446	53,997	56,304
	基準財政需要額算入見込額		2,378,330	2,414,209	2,366,407	2,283,419	2,146,512
(A) - (B)	将来負担比率の分子		1,204,728	1,005,509	875,014	794,293	700,784

## 分析欄

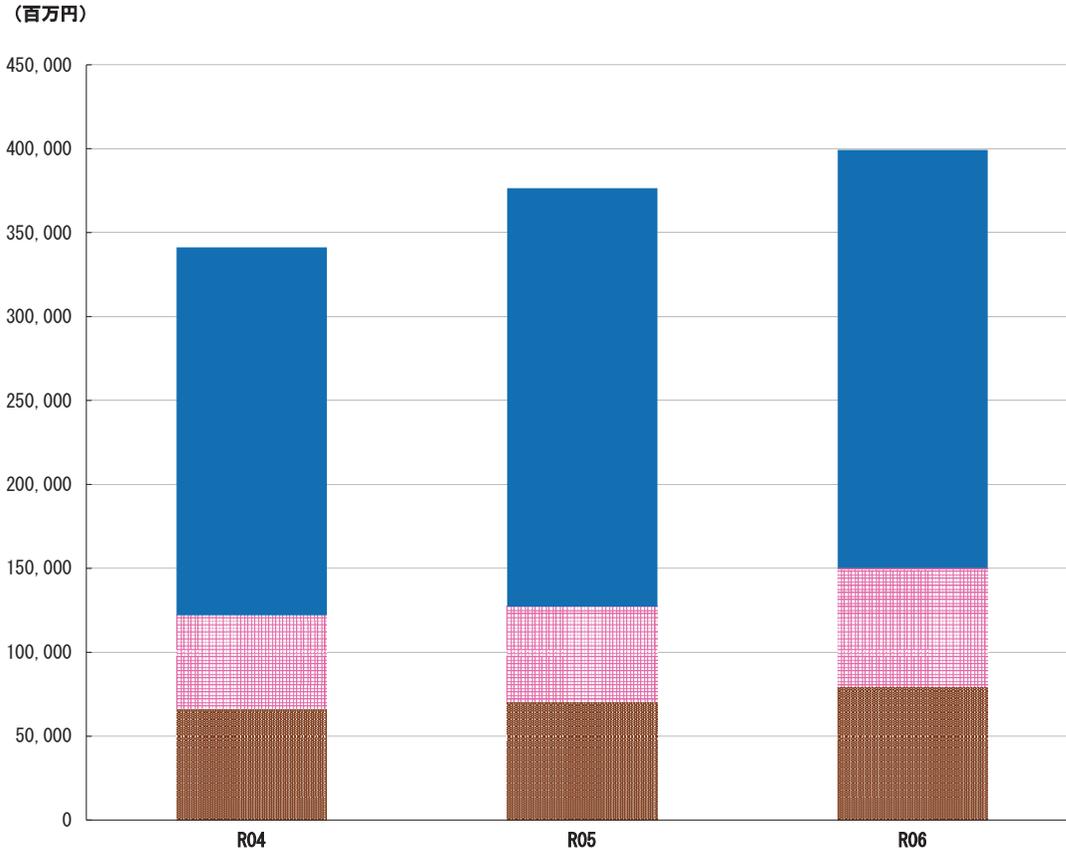
過去に発行した県債の償還が進んでいること等により、一般会計等に係る地方債の現在高が減少している。

加えて、普通交付税の後年度精算に備えた交付税精算基金への積立等により、充当可能基金が増加している。

以上の要因により、将来負担比率の分子は減少している。

充当可能基金は、後年度の基金活用により減少する可能性もあることから、今後も県債の適切な管理を行うことで健全な財政運営に努めていく。

# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）



区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		66,185	70,892	79,623
減債基金		55,706	56,174	70,605
其他特定目的基金		219,257	249,523	249,133
交付税精算基金		84,600	87,200	98,800
公共用施設等基金		34,700	26,977	27,020
退職手当基金		-	17,100	16,200
地域医療介護総合確保基金		14,965	18,536	15,792
公立学校情報機器整備基金		-	5,373	15,541
<b>基金残高合計</b>		<b>341,147</b>	<b>376,589</b>	<b>399,361</b>

令和6年度

神奈川県

## 基金全体

(増減理由)

- ・4年度末残高は、減債基金の減（△121億円）等により、基金全体で3年度末残高より121億円減少。
- ・5年度末残高は、退職手当基金の新設（+171億円）、国庫支出金返納基金（+133億円）等により、基金全体で4年度末残高より354億円増加。
- ・6年度末残高は、交付税精算基金の増（+116億円）、減債基金の増（+144億円）、地域医療介護総合確保基金の減（△27億円）等により、228億円増加。

(今後の方針)

- ・財政調整基金については、不測の事態で生じる財政需要へも対応できるよう一定規模の積立は必要であるため、将来への備えとして残高の確保に努めていく。
- また、特定目的基金については、各基金の目的に従って適正な管理・運用を行っていく。

## 財政調整基金

(増減理由)

- ・4年度の財源対策としての取崩し（△547億円）や交付税精算分の特定目的基金への移行（△750億円）等による減（△1,255億円）。（4年度）
- ・4年度決算剰余金の法定積立等による増（+47億円）。（5年度）
- ・5年度決算剰余金の法定積立による増（+95億円）等による増（+87億円）。（6年度）

(今後の方針)

- ・本県では、過去に2,000億円規模の税収減を経験していることから、こうした不測の事態に備えて、県単独で行っている福祉、医療など、県民生活に直結する事業に影響を及ぼさないよう、標準財政規模の5%（7年度：約742億円）を目安とした積立に努めていく。

## 減債基金

(増減理由)

- ・臨時財政対策償還基金費（97億円）や県償還額の平準化に備えた積立（24億円）の取崩し等による減（△121億円）。（4年度）
- ・県償還額の平準化に備えた積立（97億円）の取崩し等による減。臨時財政対策償還基金費の積立（105億円）による増（+5億円）。（5年度）
- ・臨時財政対策償還基金費の積立（143億円）による増（+144億円）。（6年度）

(今後の方針)

- ・将来の償還に備え、必要に応じて積み立てていく。

## 其他特定目的基金

(基金の用途)

- ・交付税精算基金：法人事業税等の収入実績に0.75を乗じた額が当該税目の基準財政収入額より多いことにより生じる普通交付税の過大交付額の後年度精算への補填
- ・公共用施設等基金：公共用施設等の老朽化対策等のための財源の安定的な確保
- ・退職手当基金：地方公務員の定年引上げの影響により、翌年度以降一時的に増加する退職手当の確保
- ・地域医療介護総合確保基金：医療及び介護の総合的な確保のための医療機関・公的介護施設の整備、居宅等における医療の提供、医療従事者・介護従事者の確保
- ・公立学校情報機器整備基金：初等中等教育段階の公立学校における情報機器の整備

(増減理由)

- ・交付税精算基金：6年度に交付された普通交付税の精算分の積立を行ったことによる増（+116億円）
- ・地域医療介護総合確保基金：各市町村の整備計画等の実施に際し、基金残高を積極的に活用したことによる減（△27億円）

(今後の方針)

- 各基金の目的に従い適正な管理・運営を行っていく。
- ・交付税精算基金：交付税精算（交付翌年度から3年間に分けて精算）にあわせて取崩しを予定。
- ・公共用施設等基金：6年度に積立した0.4億円も活用し、7年度以降も計画に基づき公共用施設等の整備を推進。
- ・地域医療介護総合確保基金：本県が作成した計画に基づき、医療機関・公的介護施設の整備など当該基金を活用し事業を推進。
- ・退職手当基金：必要額を7年度中に積立し、8年度の取崩しを予定。
- ・公立学校情報機器整備基金：6年度に積立した102億円は、本県が策定した計画に基づき翌年度以降の取崩しを予定。